

平成28年8月18日

森と海の自然科

### 吉野川源流の村「川上村」のご案内（修正版）

リクエストの声高いアマゴの掴み取りとバーベキューを、吉野川源流の村「川上村」を訪れておいに楽しみ、残暑厳しい時期を元気に乗り切りましょう。

#### 記

日 時：平成28年9月1日(木)

見学場所：奈良県川上村 ①大滝ダム・学べる防災ステーション ②中井溪谷自然塾(アマゴの掴み取り) ③吉野川源流「森と水の源流館」

集合場所：JR大阪城公園駅前(マイクロバス利用)

集合時間：午前7時50分。出発は午前8時00分(雨天決行)

参加費用：5千円(当日、徴収します。)

行 程：JR大阪城公園駅前 ⇒ 大滝ダム・学べる防災ステーション ⇒ 中井溪谷自然塾(昼食) ⇒ 「森と水の源流館」 ⇒ JR大阪城公園駅前(午後5時30分頃解散)

持 ち 物：弁当(握り飯・漬物程度)・飲み物(各自の好みのもの)・箸・取り皿・タオル・雨具など

見学場所：①吉野川源流の村「川上村」

奈良県川上村は吉野川(紀の川)の源流の村です。紀ノ川(吉野川)は全国でも有数の多雨地帯である大台ヶ原を源流として、奈良県中部と和歌山県北部を貫通して多くの川を合わせて和歌山市において紀伊水道に注ぐ一級河川である。奈良県内の紀ノ川を「吉野川」という。川上村をはじめとする吉野川流域では17世紀初頭には杉や桧の植林が始まるようになり、18世紀に入ると香気に富む吉野杉が酒樽の最上とされ、建築材と合わせて林業が発展した。これに伴い、吉野川は筏に組まれた木材の流送経路として長く利用され昭和初期頃まで見られた。現在、川上村は約740haの原生林(三之公の原生林)を購入し、「吉野川源流-水源地の森」として豊かな水環境の保全・保護活動に取り組んでいる。

#### ②「森と水の源流館」

「森と水の源流館」は、吉野川源流域約740haに広がる吉野川源流・水源地の森を管理しており、川上村の豊かな森と水の恵みを体感できる施設です。迫力あるスクリーン映像と巨大ジオラマを通して水源地の森を感じてください。通年の自然・文化・歴史民俗体験プログラムも実施しています。

#### ③中井溪谷自然塾

澄み切った空気、あふれる緑。せせらぎの音がやさしく迎えてくれる大きな自然の中で、とっておきの時間を過ごせる、美しい姿のアマゴが出迎えてくれる溪流中井溪谷。

自然と思いきり遊び、とびっきりの自然を学ぶところで、アマゴの掴み取りとバーベキューを楽しみます。

#### ④大滝ダム・学べる防災ステーション

大滝ダムは奈良県吉野郡川上村、一級河川・紀の川本流上流部に建設されたダムである。国土交通省近畿地方整備局紀の川ダム統合管理事務所が管理する高さ 100 メートルの重力式コンクリートダム。伊勢湾台風による紀の川の大水害を機に紀の川の治水と、上流の大迫ダムなどと共に奈良市・和歌山市などへの利水、および出力 1 万 500 キロワットの水力発電を目的とした特定多目的ダム法に基づく特定多目的ダムである。計画以来地元の反対運動が激しく補償交渉が極めて長期化したほか、完成直前に貯水池斜面が地すべりを起こして対策に時間が掛かるなど完成までに 50 年の歳月を費やした日本の長期化ダム事業の代表格。

～東の八ッ場（利根川水系吾妻川に計画されているダム）、西の大滝～  
と言われるほど強烈な反対運動のおこったダムであり、日本の長期化ダム事業の代表例として有名な大滝ダムについてバスの中で児玉さんにたっぷりと講義していただきます。

企画担当：里川グループ（浅野・坂根・杉谷・中東・倭・丸山・金戸）



2016年9月9日

## 吉野川源流の村「川上村を学ぶ」バス旅行の記録

吉野川源流の村「川上村」を訪ねる今回の例会は、夏・秋研修旅行以外では久しぶりの貸切バスでの活動となりました。

行のバス車内で、目的の一つである「大滝ダム」の建設に50年もの長きにわたった経緯と背景について、児玉さんから1時間強にわたり詳細な説明を聞き多くを学びました。

1. 日時 : 2016年9月1日(木)
2. 参加者 : 森海メンバー(浅野、大石、甲斐、金高、金戸、児玉、坂根、杉谷、中曽根、並木日景、藤井、藤本、前野、万井、杵三、山下、倭)  
お友達メンバー(中井、篠田、渡瀬、牧野、大西、畠中)(敬称略)
3. 行程 : JR大阪城公園駅前8:00出発⇒大滝ダム・学べる防災ステーション⇒中井溪谷自然塾(アマゴの掴み取り/バーベキュー)⇒森と水の源流館⇒JR大阪城公園駅17:30解散



大滝ダム

\*大滝ダムは、奈良県吉野郡川上村に、紀ノ川(和歌山県)の上流吉野川(奈良県)に建設された高さ100メートルの重力式コンクリートダムである。

伊勢湾台風による紀ノ川の大水害を機に紀ノ川の治水と上流の大迫ダムなどと共に奈良市・和歌山市などの利水・水力発電を目的とした特定多目的ダムである。

計画以来地元の反対運動が激しく交渉が長期化したほか、完成直前の地滑り等の対策に時間が掛かり完成までに50年の歳月を費やした日本の長期化ダム事業の代表格である。

### \*学べる防災ステーション

防災と水とダムについて学べる施設である。

雨具、長くつを身に着けて、三段階の大雨の威力を体験しましたが、時間が短くて迫力に少し物足りなく思いました。

館長から、大滝ダム等についてのお話がありましたが、車内で児玉さんから詳細なお話を聞いていた事と変わらない内容であった。



アマゴの掴み取り



バーベキュー

\* 中井溪谷自然塾

生け簀にアマゴが放たれて皆さんは、アマゴを手での掴み取りに夢中になりました。  
取ったアマゴをくし刺しにして網焼きで美味しく頂きました。  
昼食のバーベキューは、アマゴも含めて美味しく頂きました。

\* 森と水の源流館

源流の自然、水源地を守ることの大切さや、地球環境・水資源を水源地の視点から考える事や、本当の森や水の楽しさを分かち合う交流の輪を広げることを役割とした施設である。施設の館長からの説明で、吉野山林地の山林王である土倉庄三郎について、その財力とその使い道等により明治期の日本の成長を牽引した自由民権運動も、その台所を支えたと言われている。

今回の川上村での「アマゴの掴み取り／バーベキュー」は、残暑厳しい時期に元気よく乗り切るのに良い企画だったと思っています。

森海の皆様、特別参加の皆様にご協力を頂いたことを感謝します。

企画担当：里川グループ  
(写真：坂根 記録：杉谷)